



friendship force TOKYO

ニュースレター第142号

フレンドシップフォース東京

2025 年 11 月

FF Nor Peru 受入 10 月 23 日(木)~29 日(水)

ノールペルークラブの思い出

鎌田昭子

10 月 22 日ペルーの AC ハイメからメールがありました。内容は日本の挨拶の作法についてでした。成田空港到着後 初対面のホストに不快な思いを与えない挨拶の仕方を教えてほしいということでした。ペルーではハグと同時に相手の頬に軽くキスを 1 回します。日本ではハグやキスは大丈夫なのかと聞かれました。今回のノールペルークラブのメンバーは楽しい方が多かったですが、教養も高く日本から学ぼうという姿勢が感じられました。AC の口から「ペルーが日本の様な国であってほしい」と呟いているのを何度か聞きました。FFT のベテランホスト達の対応について AC ハイメはこの様に評価していました。「ホスト達のおもてなしは 200 点満点！」と目を大きく見開いてはっきり言っていました。また、「このおもてなしをお返ししたいから、ぜひ、ペルーへ来てください」と何度も繰り返し言っていました。

始めて HC になったの感想を述べさせていただきます。HC の役目は想像以上に大変でした。経験も能力もないため失敗の連続は自分を追い詰めること

アンバサダー 14 名

ホスト: 鎌田昭子(HC)、加藤光子(AHC)、川上恵造/仙石和子(旧会員)、郡山育子/光(埼玉クラブ)、島田逸司/信子、田中裕海/浩代、堤由紀枝、西村介延/純枝(埼玉クラブ)、水上恵子



になって途中で辞退したい気持ちに何度か陥りました。しかし、ペルーのアンバサダー達の夢であった富士山旅行がかなったことが嬉しく、最後まで継続できたことを今は嬉しく思っております。

富士山での奇跡的な晴天は参加者全員を幸せにしてくれました。アンバサダーの中で一人の女性が次の様な事を言いました「皆の行いが良いから富士山が見られたんだ」と。帰りのバスの中でビンゴゲームを楽しみました。景品がなくなった時「続きはペルーで!!」と言って拍手で終わりました。

大事もなく地球のうら側で日本人を理解してくれる友達が増えたことがとても嬉しいです。7 日間の交流も皆様のお陰で無事終了しました。至らないところを支えて下さった皆様へ深く感謝申し上げます。最後に、Friendship Force の理念が継続することを心より願っています。

★渡航★

FF Long Island (USA) 9/11~18

FF Greater Hamilton and Burlington (Canada) 9/18~25

アンバサダー:13 名

岡田万里子(AC)、堤由紀枝(AAC)、安達京子、内田敦子、酒井ケイ子(Newcastle クラブ)、島田信子(カナダ渡航のみ)、須山信明、野村真理子、水上恵子、宮本晴子、安田典子、山口イツ(アメリカ渡航のみ)、渡辺いづみ

FF Long Island との交流

山口イツ (新入会員)

練りに練り上げられた旅程と係分担に感嘆いたしました。現役で平日は仕事のホストも献身的に尽くして下さり、ありがたかったです。

1. FF 交流の方法

(1) パーティ 3 回

Welcome Dinner、Mix and Match Dinner、Farewell Dinner と 3 回設定されていました。担当されたホスト様はとても大変だったと思います。パーティというと日本人だと手作りのおもてなしをしなければ、と気張ってしまいがちですが、Catering を利用したり、スーパーの出来合いのお惣菜を上手に取り入れていたり、食器も紙皿やプラ物で気取らないものでした。その分、気軽に話し合える雰囲気でも良かったです。FF では政治宗教その他諸々の話題禁止があるにもかかわらずパーティではいつの間にかトラ〇〇氏の話になってしまう。(笑) 深入りせずに誰でも参加できる話題を提供して楽しく過ごせればよいと思う。

(2) 共に観光ツアー

①マンハッタン島観光が 2 日ありました。係のホスト様が事前に購入してくださった電車と地下鉄の切符を手に、ホストから逸れないように必死に階段の上り下りを頑張っついていきました。ワインバーの夕食もよかったが、デナー付きクルーズ最高！自由の女神像と夕日を眺め、ダンスに興じてとても楽しかったです。でも、朝早く出発して夜遅くまでの観光はとても疲れました。

②地元でゆっくりミニ観光→地元で過ごす日が 3 日ありました。

1 回目は到着の翌日、地元の収穫祭のようなイベントに行きました。音楽、ドックショー、ダンス、見世物？様々な展示物から人々の日々の生業が推察されました。

2 回目は博物館とホテルになっている元大富豪の別荘見学とその後ヨットハーバーのあるリゾート地でピクニックでした。冷蔵庫にあるものを持っていき海浜公園で食べてゆっくり町を散歩。のんびりできてよかった。

3 回目は歩け歩けで灯台見物でした。

2. FF 参加の総括と今後のために

相手国の歴史、地理など事前学習が不足であったことを痛感。それと語学力不足です。会話に必要な単語が思い出せない、聞き取り不十分でそのたびに Pardon? Sorry? を連発、マジに要努力！これから FF に参加なさる方、初めて参加した私の反省を生かしてくださいませ。

個人的に一番楽しめたのは FREE DAY です。ホストに連れて行ってもらった地元の SUNDAY マーケットとホストのお嬢さんが住んでいるという Brooklyn に行ってお皆さんと一緒に Coney Island でハンバーガーを食べたことです。何気ない交流が一番良かったです。

続き★渡航★

FF Long Island (USA) 9/11～18
FF Greater Hamilton and Burlington (Canada) 9/18～25

FF Greater Hamilton and Burlington との交流

安田典子

初めてのホームステイの後半はカナダのバーリントン滞在中でした。私のホストは89歳と80歳のご夫妻でした。お宅は静かな住宅地にあり、毎朝散歩を楽しみました。お宅もお庭もとてもおしゃれで、アフリカの木彫りの像等が所狭しと飾っており、センスの良さに感動しました。滞在中はお二人が毎日付き添って下さり感謝の気持ちで一杯になりました。プログラムはとても考えられていて、ナイアガラクルーズ、ワイナリー訪問、乗馬体験、原住民のイヌイットの美術作品鑑賞、日本センター訪問等、観光を楽しんだだけでなく、歴史、文化、環境問題等多くのことを学びました。ホストの方々の暖かさや美しい自然等、感動の多い旅でした。



両国での思い出



〜〜〜2026 年 渡航・受入〜〜〜

渡航 2 月 4 日〜10 日-----FF Chiang Mai(Thailand)

タイ北部にある第二の都市チェンマイは「北方のバラ」と呼ばれる美しい古都で、13世紀末から16世紀半ばまでランナータイ王国の首都として栄えたところです。

ここを拠点とした FF Chiang Mai との交流は FF 東京としては初めてになります。アンバサダー 16 名(AC堤由紀枝、AAC神吉節子)による渡航です。



受入 5 月 15 日〜22 日-----FF Long Island(New York, USA)

この受入のHCは岡田万里子、AHCは須山信明です。先方の様子は今回のニュースレターの2ページをご覧ください。今年たいへんお世話になった FF Long Island から約 15 名のアンバサダーが東京に来られます。皆であたたかく迎えましょう。皆さまのご協力をお願いします。

あちらでは数回のパーティ、マンハッタン島での観光、夜景など沢山の思い出ができたようです。

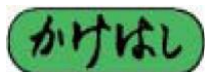


受入 9 月中旬-----FF Dallas(Texas, USA)



FF Dallas の 2024 年時点、様々な国籍や民族的背景を持つ、様々な職業や経歴を持つ 70 名のメンバーで構成されており、メンバーのほとんどはダラスまたは半径 30 マイル圏内に生活しています。

FF 東京は、FF Dallas との交流で、2001 年 3 月に 14 名で渡航し、2002 年 9 月に 21 名を受入れています。来年の受入は約 20 年ぶりの交流になります。



【受入：光州（韓国）1994 年 3 月 17 日～24 日 アンバサダー24 名】

平野悦子

FFT が光州からの受入れをした 1994 年は、まだ日韓で国交がなく韓国は光州事件もあり未知の怖い国という思いで、私は HC を押付けられた感がありました。我家のアンバサダーは、亭主関白な夫と従順な妻の二人。男尊女卑の韓国の縮図でした。でもイベントをこなすうちに見えてきたのは夫の妻に対する気遣いでした。特に welcome パーティでは、私の着ていた辻が花の着物を、夫がぜひ妻にそれを着せてやってというので急遽着物を交換、私

は豪華なチマチョゴリ姿になり、やったー！でした。古い日本のレコードを擦り切れるほど聞く日本の演歌大好き夫は（韓国で日本の音楽は輸入禁止時代）秋葉原の大型家電店で美空ひばりの LP を五枚も買ってご満悦でした。翌年韓国渡航で、彼らに再会。まだ周りの韓国人は日本人を憎悪の目で見えていましたが私達は感無量でした。その後冬ソナで韓流ブームが到来。今でも日韓で政治的には問題山積みですが久々に当時を思い出し胸が熱くなりました。

納涼祭

7 月 13 日

増山美枝子

会場は女子栄養大学の「松柏軒」で開催、今回の会食は着席ビュッフェで好評と聞く。参加者の皆さんのどの顔にも飛び切りの笑顔が溢れている。先ずは堤会長のご挨拶がありコロナを経て 5 年、新規会員を増やしていく為に現会員の一致団結を呼びかけました。新入会員の自己紹介があり、今後の活躍が大いに期待されるお二人と感じました。恒例のバザーでも係の手際よい対応と、お客様の素早い買い物の決断であっという間に完売となりました。FF 東京メンバーのパワーと団結力を感じました。余興の

列車じゃんけんゲームではその盛り上がりは最高潮に達しました。じゃんけんを最後まで勝ち抜いたのはご夫婦で参加の余村とこさんでした。参加者全員からまさに祝福の嵐が巻き起こり、皆さんは笑顔で満ち満ちていました。顔を合わせればお互いの意思疎通が出来るのが FF 東京メンバーの強み、と言われてきましたが大いに実感しました。



FF 東京のホームページの URL が変更されました。新 URL : <https://fftokyo.cloudfree.jp>



2025 年 Calendar

12 月 5 日	東京地区懇親会
2026 年 1 月 18 日	総会・懇親会

【編集後記】

FF の長い歴史に思いを馳せる。今の FF の活動を支えているのは間違いなくその歴史から学んだ知識や経験だろう。パワーの源だと感じる。大切な場所として未来に繋げていきたい。

編集・発行 フレンドシップフォース東京

FF 東京事務局 Email : fftjykimukyoku@gmail.com HP:

